



東中だより

No. 06 令和7年10月 6日(月) 余市町立東中学校 発行

校訓…「進取」「利他」

学校教育目標

- 自律…自ら考え判断し行動する
- 尊重…多様性を受け入れ対話し解決する
- 創造…豊かな発想で新たな価値を生み出す

十人十色に輝いた東中祭

校長 明 村 秀 之

すっかり秋めいた日が多くなってきました。空も高くなったように感じますし、学校の裏山の木々も色づいてきました。この時期、朝夕は寒さを感じる日もありますので、体調を崩す生徒が多くならないことを願っています。

さて、10月3日(金)に第56回東中祭を開催しました。一人一人の興味関心に応じて、ダンスや歌、創作劇などのステージ発表、絵画や工作などの芸術発表、個々の興味関心をテーマとした研究発表に分かれ、取組を進めてきました。

ステージ発表では、パロディー劇で観客を楽しませたり、切れのあるダンスを披露したり、アイドルの歌で観客と一体となって会場を盛り上げたりと、若さあふれる発表が多くありました。芸術発表は、時間をかけ、手の込んだ作り方をしている作品が多く、才能が花開いていることを感じました。研究発表では、自分の興味関心をもとに追究してみたいものに取り組ましました。テーマは多岐に渡っており、動画やスライドでまとめてみたり、絵や図、解説を自分で書いてまとめてみたりなどさまざまです。車(旧車)やバイクなどについてまとめているものは、説明を聞いているうちに、私と好きなものが同じであることがわかり、同志のような気持ちになりました。



午後からは学年ごとの合唱発表でした。今年は練習の時から大きな歌声が校舎に響いていました。まるでお互いを切磋琢磨するかのように、日々歌声が洗練されていったように感じていました。当日は堂々とすてきな歌声をどの学年も響かせてくれました。



この東中祭を盛り上げようと、全体に目を向けて力を尽くしてくれたのが生徒会役員です。開祭式と閉祭式では、自分たちで考えたストーリーの動画を作り、クイズで全校生徒を巻き込んで楽しませてくれました。役員任期の最後の集大成となるのが東中祭です。閉祭式では退任の挨拶があり、役員5人がそれぞれに活動に取り組んできた思い、仲間を思う気持ちについて話していました。「この5人で活動してきてよかった。」という3年生の言葉を聞いた2年生が涙した場面があり、見ている我々も胸がとても熱くなりました。

東中祭テーマ「十人十色」にふさわしい、一人一人が輝いた取組になったと思います。

ご来場いただいた地域・保護者の皆様、またPTA活動として写真撮影にご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。



東中祭の画像・動画の取扱いについて

体育館や廊下等に注意書きを掲示しておりましたが、東中祭の画像・動画を撮影した場合、個人で鑑賞されるのは構いませんが、トラブル防止や個人情報保護の観点からSNS等に掲載する行為は慎むようお願いいたします。



教職員による撮影について

全国ニュースとなっておりますが、教員による盗撮事件等を受け、北海道教育委員会及び余市町教育委員会の指導の下、私たち教職員も撮影する際には校長による許可制となっております。データ管理は、一括で行い、自由に閲覧できない仕組みとするよう求められています。

例として、これまで旅行的行事では現地での様子を教職員個々が撮影し、集約して、担当が安心メール等でご家庭へお知らせしておりましたが、個人スマホを活用しておりましたので、これらの取組は今後できないこととなります。我々としても誠に遺憾ではありますが、保護者の皆様のご理解をお願いいたします。